

荒尾市の取組紹介

～荒尾駅周辺のまちづくり～

令和8年2月19日

荒尾市
地域振興部 産業振興課



荒尾市のご紹介



人口：48,543人

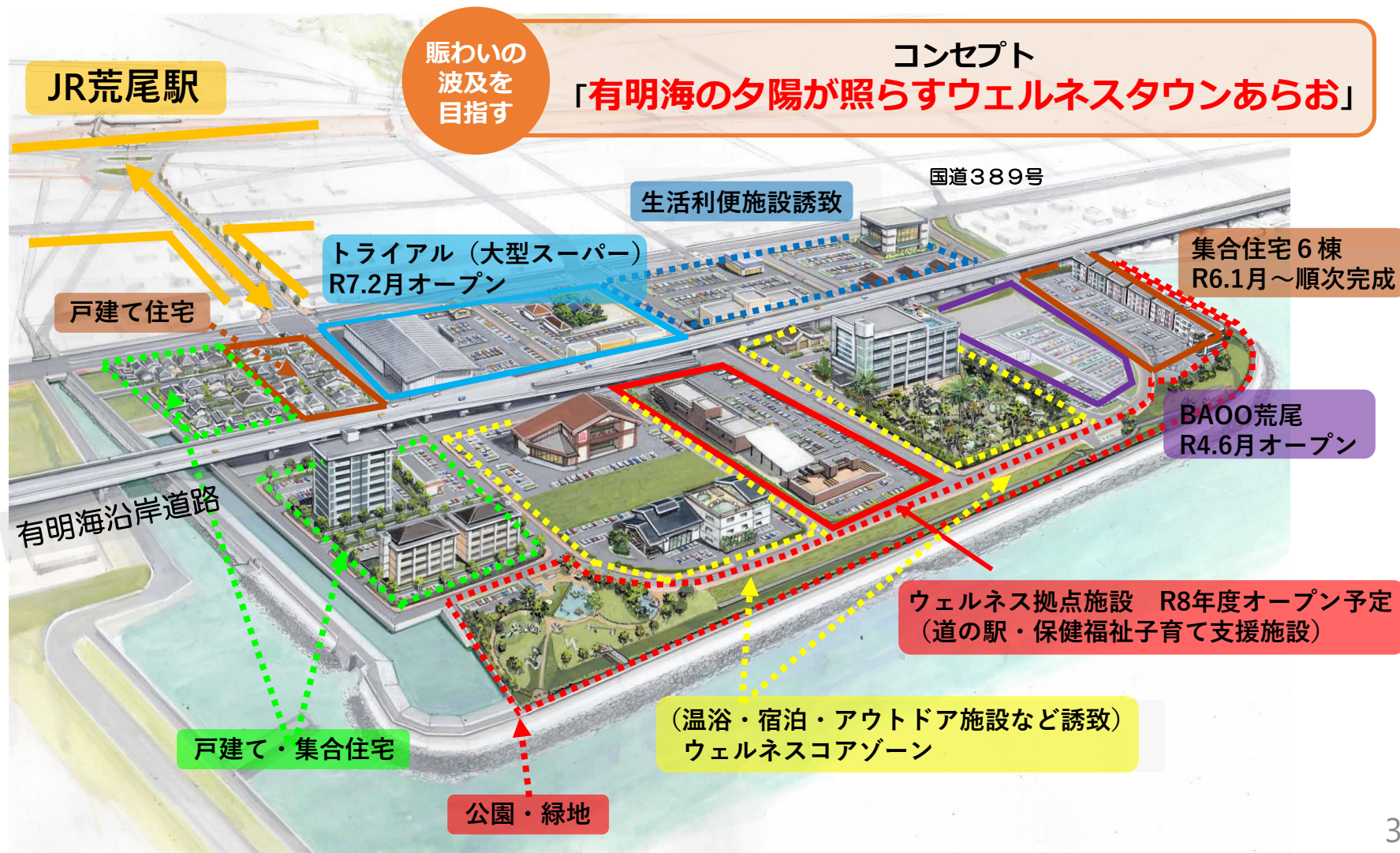
※住民基本台帳人口（R7年9月末時点）

高齢化率：37.04%

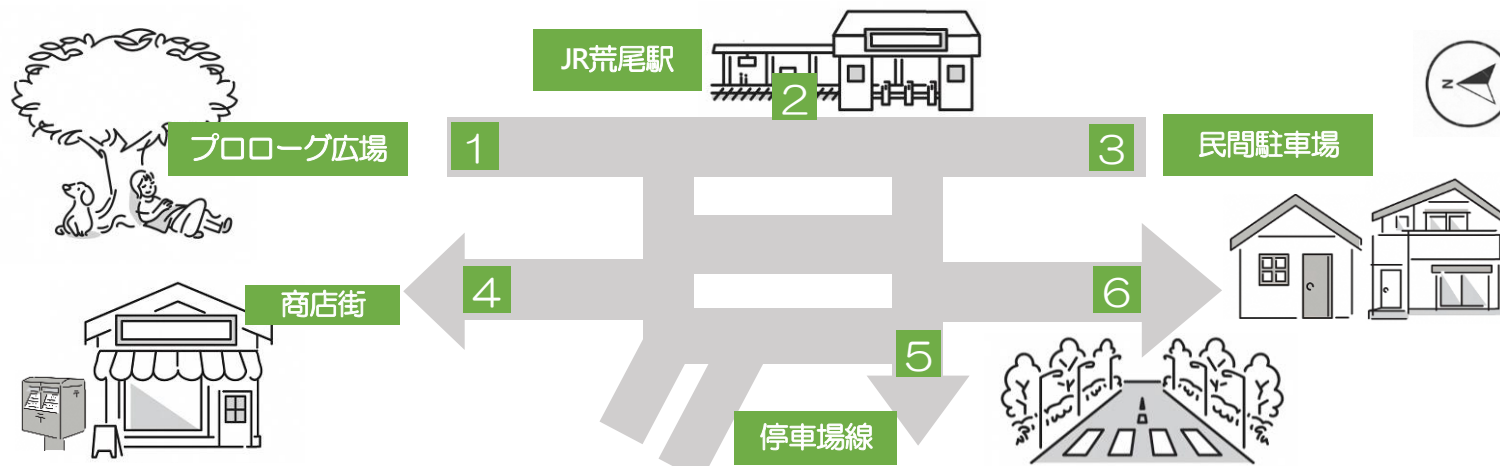
市域面積：57.37km²

あらお海陽スマートタウンのまちづくり

あらお海陽スマートタウンでは、「**ウェルネス**」「**スマート**」をテーマとしたまちづくりを進めています。（南新地地区区画整理事業）



荒尾駅周辺の現状



荒尾駅前活性化プロジェクト

荒尾市では、あらお海陽スマートタウンのまちづくりに合わせ、
当該地域と荒尾駅周辺地域の両拠点を回遊する
人の流れを創出することで、

賑わいの創出や滞在時間の延長による消費の拡大、
荒尾駅の利用促進などにつなげ、

エリア全体の価値を高めることを目指しています！



荒尾駅前活性化プロジェクト

■これまでの実施事業

空き店舗所有者意向調査 (R5)

リノベーションによる商業展開等の可能性検証

(旧大石たばこ) (R5～)

駅舎に必要な機能の検証 (あらおリビング) (R6～)

えきまち研究会 (R5～R6)

社会実験の実施 (R6～)



リノベーションによる商業展開等の可能性検証（旧大石たばこ）

■ 駅近くの旧たばこ店をリノベーションし、実証実験を実施。

（のあそびlaboへの委託事業）

7.22 Sat.

ワークショップ①（解体）

11.5 Sun.

内覧会（リノベーション途中経過）
まちづくりトークセッション

8.6 Sun.

ワークショップ②（解体）

1.21 Sun.

内覧会（完成）
まちづくりトークセッション

9.3 Sun.

ワークショップ③（内装）

1~3月

チャレンジショップ

10.1 Sun.

ワークショップ④（内装）

令和6年度からは民間主体の運営へ移行

12.3 Sun.

ワークショップ⑤（仕上げ）



駅舎に必要な機能の検証（あらおリビング）

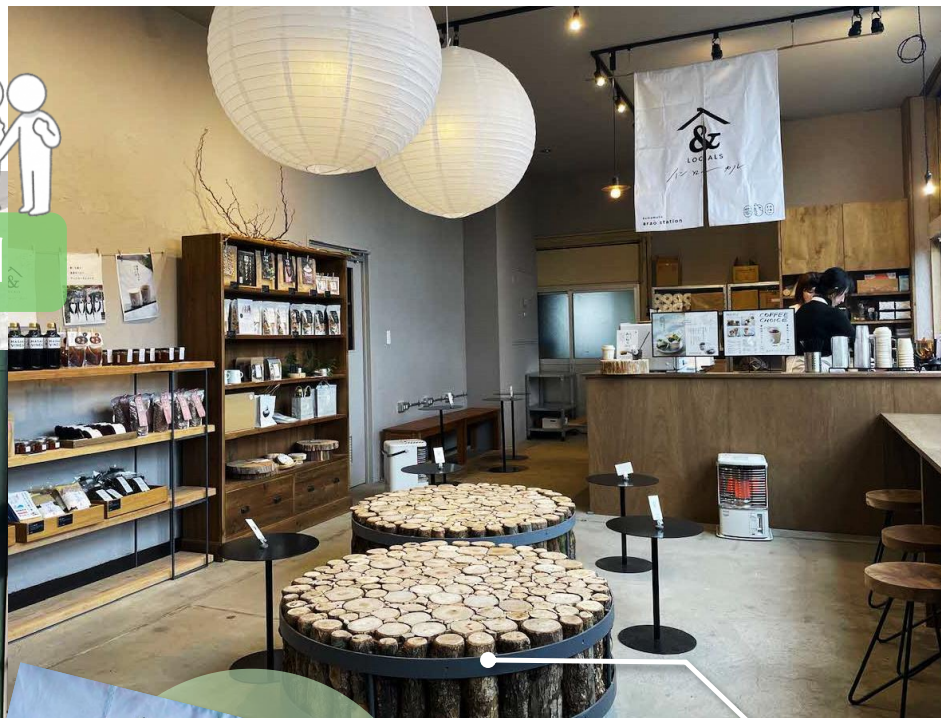


■ あらおリビングでの検証内容

- ・ 待合機能
- ・ ワークスペース
- ・ 物販機能
- ・ カフェ機能 など



荒尾市 × のあそびlabo × JR九州



えきまち研究会



えきまち研究会とは？

令和3年度から実施した「市民ワークショップ」で考えた荒尾駅周辺のまちづくりの方向性を踏まえ、令和5年度からは駅に関係する方や周辺の事業者の方と「えきまち研究会」を設立し、**荒尾駅周辺が居心地のよい場になるか意見交換**しました。



第1回 まち歩き

- ◆ まち歩きをしながら椅子を並べて座って見て居心地の良さを確認
- ◆ 場所の良いところや課題について

第2回 将来ビジョンの検討

- ◆ どんな活動・体験が出来たら良いか
- ◆ 活動イメージを一言で表すキーワード「#〇〇〇〇」

第3回 アクションプランの検討①

- ◆ 将来ビジョン実現に向けてすぐにでもできそうなこと・時間はかかるけど必要なこと
- ◆ 活動イメージに合った設備やデザイン

第4回 アクションプランの検討②

- ◆ 「自分が協力できる」「是非やってみたい」取り組みについて

社会実験の実施 (R6) ※市民ワークショップ等の意見を基に開催

調査支援  UR 都市機構

これまで得た
市民意見

- ・市民向けワークショップ
- ・駅前マルシェ
- ・えきまち研究会



駅前広場で望まれる活動(仮)

- A. テイクアウトを可動イスやテーブルで飲食
- B. 電車の待ち時間でワーク
- C. シェアスペースでチャレンジショップ
- D. 芝生の広場空間で子どもが遊べる

E. コミュニティスペースで交流



駅前がこんな風になってほしいな



実際に駅周辺に出て
過ごし方を確かめてみよう!

駅前広場社会実験 (R6.11.23 (土))

えきまち研究会での活動イメージをもとに駅前広場のロータリーの一部を通行止めにして歩行者天国化し、駅前広場での過ごし方や活動、交通への影響などを検証しました。

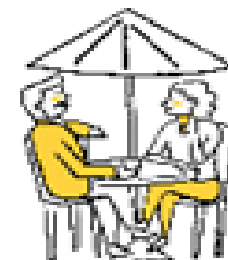
- 主催
荒尾市
- 調査支援
UR都市機構
- 調査方法
 - ・アンケート調査
 - ・投票調査
 - ・行動調査
 - ・交通調査

社会実験と同日に
駅前広場では**のあそびマルシェ**が開催、
駅舎では**あらおリビング**がオープンしました!



社会実験の実施（R6） ※市民ワークショップ等の意見を基に開催

■社会実験（イベント）風景

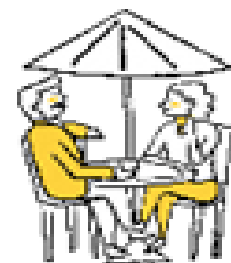


社会実験の実施（R7）

■社会実験（イベント）風景（のあそびマルシェ×DK-Live）



※R7年度は、初の夜間イベントとして
観光担当部署も加わって実施。



今後について（有明沿岸+市民アライアンスとの連携）

■有明沿岸+市民アライアンスとは？

→有明海沿岸を中心としたエリアにおいて、各地の活動の強みを活かしながら、相互に協力し、市民による地域価値共創を目指すことを目的として活動する団体。

（令和7年9月に一般社団法人として法人化）

■アライアンスのメンバー

県名	市町名	団体名／代表者	特性
熊本県	荒尾市	（一社）のあそびlabo.／中村 光成	医院長（登山家）
	長洲町	ながすヨダレ会／徳永 伸介	つなぐ人（元消防士）
	玉名市	（株）村田建築設計所／村田 明彦 （一社）higocolor／上平 健太	建築士（受賞歴多数）
	合志市	（株）グランド・デザインアドバイザーズ／上田 耕太郎	宅建士（元銀行家）
福岡県	大牟田市	大牟田ビンテージのまち（株）／富山 博史	まちづくり （不動産オーナー）

令和7年度地域生活圏形成リーディング事業の採択を受け、荒尾駅周辺地域にて地域生活圏形成事業に取り組む。⇒アライアンスのほか熊本県とも連携

2025年12月時点

ekinico

ekinico(エキニコ)の取り組みについて



人がいなくなった駅舎をどうしていくか？

長期的な交通ネットワーク維持の為、駅の無人化や時間配置化は不可避

既存の駅事務室や駅そのものを、どうしていくべきか

PLAN-A
そのまま、か



PLAN-B
地域とみんなで活用
活性化させるか

駅員さんはいませんが、
別の方が営んだり、にぎわいづくり
を継続してくれている状況を
目指します

駅舎活用の取組 “ekinico”



- 2024年10月23日 プロジェクト名「ekinico」
としてプレスリリース
- 2024年11月に筑後吉井駅・荒尾駅、12月に南
久留米駅、2025年3月に東別府駅(構内保線詰
所)、4月に喜入駅で空間活用開始



鉄道建築チームが取り組む意義・方針



なぜ「鉄道建築チーム」が取り組むのか？JR九州でいちばん「建物としての駅舎」を知っているチームが鉄道建築チーム。人がいなくなった建物は老いていくのも早くなることも強く感じていました。できることなら駅舎を皆さんにながく使ってもらい、駅舎にも長生きしてもらいたい。そんなおもいからこの取り組みは始まりました。

空間活用に必要な工事に関することはこれまでやってきた得意分野。ekinicoでは加えて空間活用の中身づくりにもチャレンジし、ソフト・ハードを一体的に考え進めることでさらにいい空間を生み出したい、そしておもいに共感いただいた皆さまと一緒に「駅にぬくもりを、地域に元気を」つくりたい、そんな気持ちでこれからも取り組んでいきます。



<https://www.jrkyushu.co.jp/company/esg/ekinico/introduction/>

参考:九州DREAM STATION と ekinico の違い

実現すること

地域の皆さまと協働した、持続可能な駅周辺・沿線のにぎわいづくり

駅活用の
連携手段

九州 DREAM STATION

- 全九州の駅・路線を対象
- 「にぎわいパートナー」を一般募集
- 選定されたにぎわいパートナーの提案実現をJR九州が支援
- 鉄道営業部門が事務局

ekinico

- 主に遊休スペースを持つ駅舎を対象
- 地域の関係者に直接アプローチ
- 地域の関係者と対話しながら、活用策をJR九州からも提案
- 鉄道建築部門が事務局

鉄道事業が
抱える課題

人口減少等による鉄道の持続可能性低下に対し、駅無人化・時間配置化や設備規模の適正化による固定費減に取り組む

- 駅員が常駐する駅の減少
- 駅周辺のにぎわいが低下

- 駅遊休スペースの増加
- 建物老朽化の進行が加速

ekinico
“あらおリビング”

ekinico

あらお
リビング

*Public Living Room
in Arao Station*

© Kyushu Railway Company

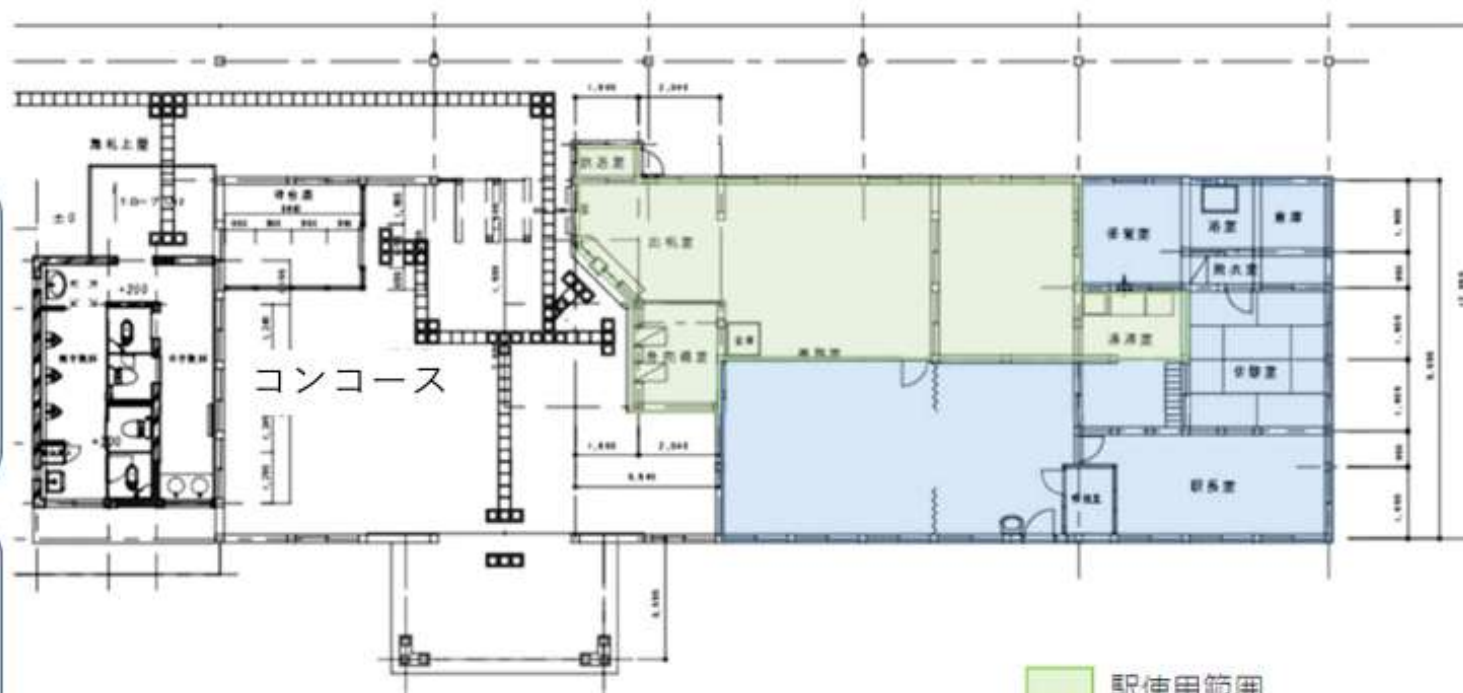
荒尾駅の状況

乗車人員 920人/日(168位)

現在

駅員1名
営業時間7:30~12:00(水日)
7:30~12:00
13:00~15:00
(上記曜日以外)
自動改札機、券売機
待合室

自動販売機7台
(ホーム上含む)



駅使用範囲

使用可能範囲

駅の営業体制の変化によって、駅に余剰スペースが生まれた。
そのままにしておくのはもったいないため、何か地域と活用できないか検討

地域のキーマンとのつながり

荒尾駅での取り組み（のあそびLaboと共に）



一般社団法人 のあそびlabo
代表 中村光成（荒尾で開業医）



Engineering Department



2022年度の取組



■2022年度

持続可能な事業継続のためのにぎわいづくり

ロッジ、シェアキッチン、アウトドア、まちづくり事業

のあそびlabo

補助金等
のサポート

駅前マルシェ主催
駅テスト活用実施

駅利活用に向けた
テスト活用等の伴走支援

荒尾市

駅周辺の空き店舗活用
人流の創出

駅前活性化事業の計画

JR九州

駅機能維持の為の活用提案

駅遊休スペースの活用



駅活用検討会

荒尾周辺の事業者や
まちづくりを行っている人
たちとの検討会
→駅で何ができるか
イメージを膨らませる

アイデアの
洗い出し



駅のテスト活用①

マルシェに合わせた
駅の空間づくり
→駅のイメージを変える

利用者の
反応を伺う



駅のテスト活用②

駅内における3日間
臨時販売実施
→駅で商売が成り立つのか
検証

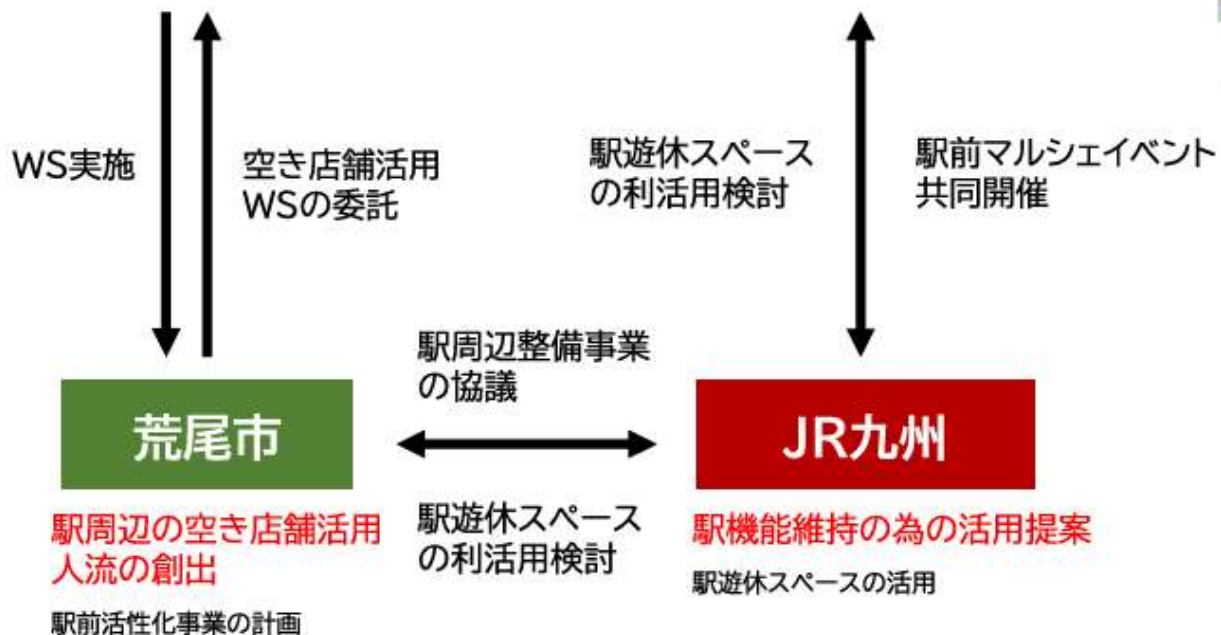
販売実績を
得ることができた

2023年度の取組

2023年度

持続可能な事業継続のためのにぎわいづくり
 ロッジ・シェアキッチン・アウトドア・まちづくり事業

のあそびlabo



共同イベントの開催



空き店舗活用WSに参加

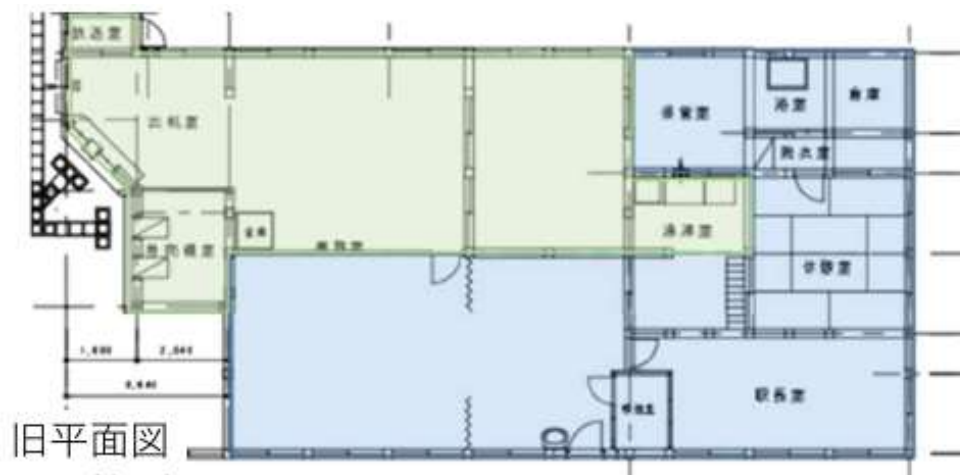


6

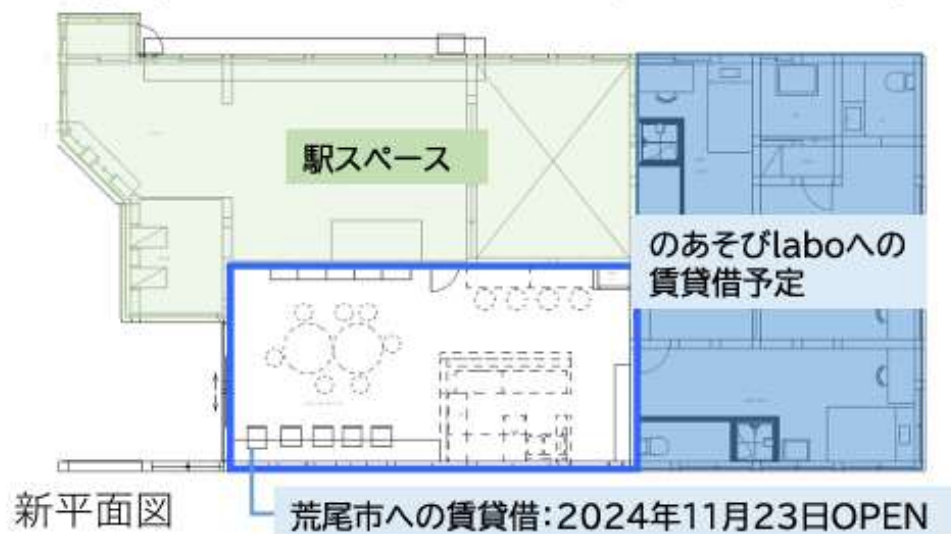
2024年度の取組

■2024年度

Before



After



2024年度の取組

■2024年度 駅の使用状況を整理し、余剰スペースを活用、コミュニティスペース“あらおリビング”OPEN

Obefore



デットスペースとなっているコンコースに面した壁面



現在の駅要員に対し過剰なスペース



仕様頻度の低いデスク等が残置

Oafter



扉の新設と壁面を床に合わせて塗装



窓面にはコンセント付きのカウンターを整備



カフェ用のキッチン新設

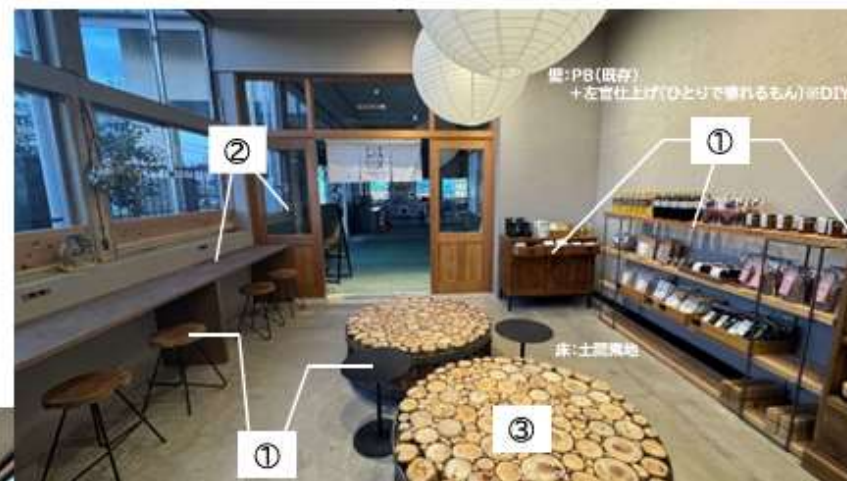
2024年度の取組

■2024年度 ・既製品と造作を使い分けコストバランスに配慮した家具計画を実施



・メイン入口の建具

施設の顔となる箇所なので
造作建具で施工実施
色味についても内装家具と色を
併せて塗料を選定した
※木+塗装(ワトコオイル:ミディアムウォールナット)



・家具凡例

- ①既製品
- ②造作家具・建具
- ③DIY
- ※メインベンチ金物制作品

2024年度の取組

■2024年度 ・補助金を活用しワークショップ開催実施やDIYでのいろいろな人達との関係人口づくりを図った



コミュニティスペースのシンボルベンチのワークショップ開催



JR社員・荒尾市職員での壁塗装のDIY実施



DIYでの関係人口づくり

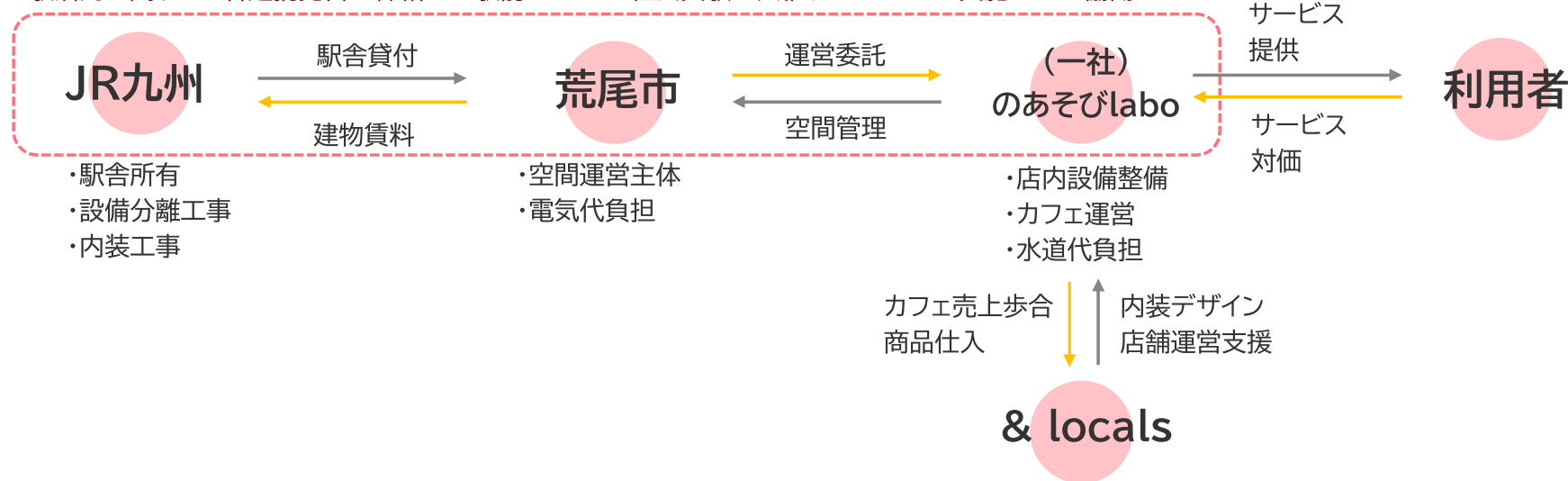


事業スキーム・とりくみの成果



■ 事業スキーム(自治体への賃貸借方式)

駅活用に関する3者連携覚書の締結 ⇒ 駅前マルシェ・社会実験の共催、DIYイベント実施などで協働



JR九州

- 遊休スペース活用
- 人のいる空間の創出



荒尾市

- 玄関口のにぎわい創出
- 将来のまちづくり構想の実証



のあそびlabo

- 新たな事業展開
- 既存の取り組みとの連携

みんなの力でまちを育てる ～官民連携が描く荒尾の未来～

あらおリビング

～誰もが集える場～

一般社団法人 のあそびlabo 中村 光成





のあそびlabo

日常に、街中に、のあそびを！

“のあそびlabo”とは

一般社団法人 のあそびlabo

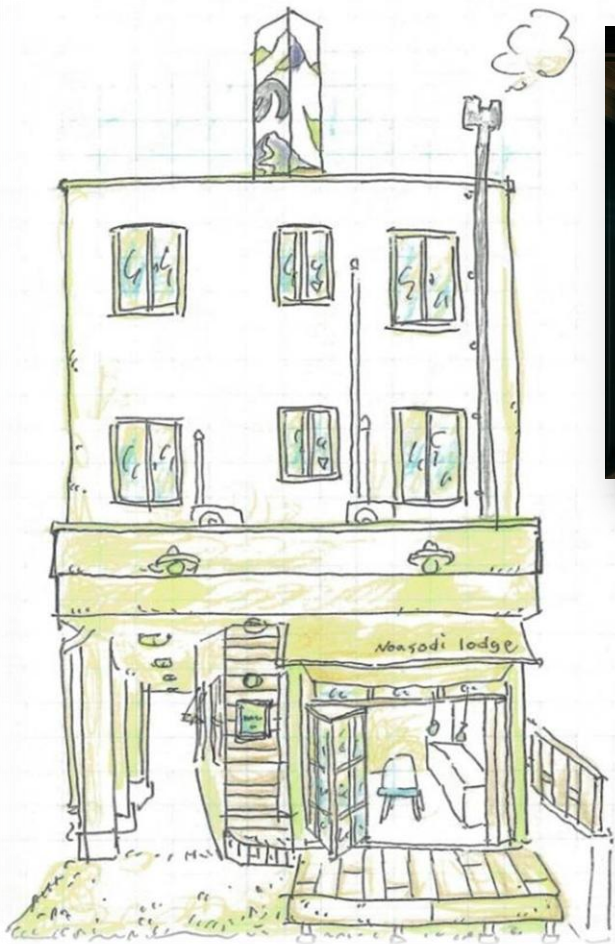
2020.04設立

のあそび（アウトドア活動）を軸に、
人が自然の恵みに感謝し生活を営める社会を造り、
前の世代から受け継いだ郷土を更に豊かなものとし、
次の世代に継承できる地域づくりを目指す。

活動内容： のあそびの企画・運営
のあそびの理念に基づいた
健全な生活を維持するためのまちづくり など



日常に、街中に、のあそびを！



のあそびlodge

2020.04 DIY 開始

2021.04 pre-Open

コミュニティ機能?

2021.10 カフェOpen

2021.12 ホテルOpen

2023.04 宿泊・飲食

・レンタル⇒黒字化

2024.05 大石たばこOpen

2024.11 カフェ休止

⇒テナント募集中!

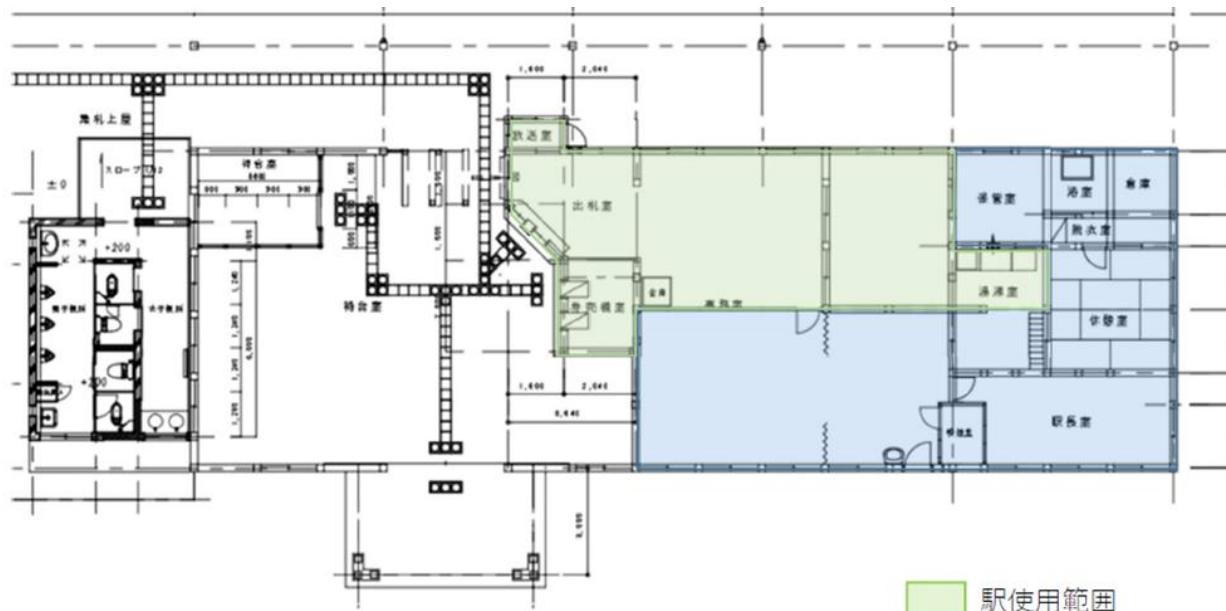


	のあそびlodge	荒尾市	JR九州	荒尾駅・駅周辺
2020.04	DIY リノベ			
2020.10				のあそび マルシェ
2021.04		夢チャレ		
2021.10			検討会 実証実験	
2022.04				
2022.10	ホテル カフェ	駅前活性化 プロジェクト		大石 たばこ
2023.04			DIY-WS マルシェ	
2023.10				
2024.04		駅舎 活用委託	駅舎 A工事	
2024.10			ekinico	あらお リビング & Locals in Local
2025.01				



あらおリビング

駅のコミュニティ・スペース



■ 駅使用範囲

2022 荒尾駅舎の 遊休スペース

駅員 1名

営業時間 07:30~15:00

- 自動改札機
- 券売機
- 待合室

自動販売機7台

駅舎活用検討会

荒尾周辺の事業者やまちづくりを行っている人々との検討会

駅のテスト活用①



マルシェに合わせた駅の空間づくり

駅のテスト活用②



駅内における臨時販売

DIYワークショップ

2024.10.31~11.03



荒尾駅舎のbefore & after



あらおリビングの機能



エントランス



待合室



カフェ (&Locals in Local 荒尾駅)



ワークスペース



Opening Event

2024.11.23



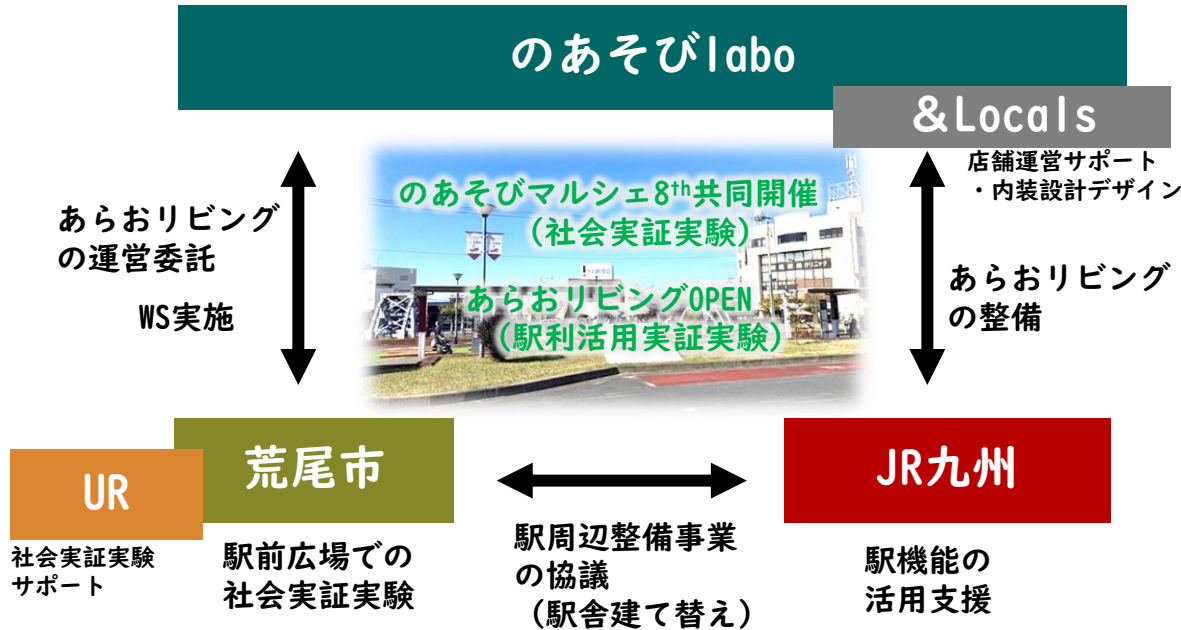


駅前の変化

のあそびマルシェ

第8回 のあそびマルシェ

- のあそびlabo
駅周辺のにぎわい創出
イベント運営サポート
- 荒尾市
駅前広場での社会実証実験
交通規制の調整
- JR九州
駅機能（コミュニティ）
の活用支援
- UR（都市再生機構）
実証実験の検証



マルシェの風景 … 荒尾駅



マルシェの風景 … 交通規制エリア



マルシェの風景 … 芝生広場





のあそびマルシェ × DK Live (デジタル掛軸)

- のあそびlabo
のあそびコンテンツの提供
設備・機材の提供
- 荒尾市
産業振興課、都市計画課
観光推進室 (DK Live)
- JR九州
- UR (都市再生機構)
実証実験



駅前初の夜間イベント！



これから起こりそうなこと

JR荒尾駅から海陽スマートタウンまで



のあそびストリート

大石たばこ

のあそびlodge

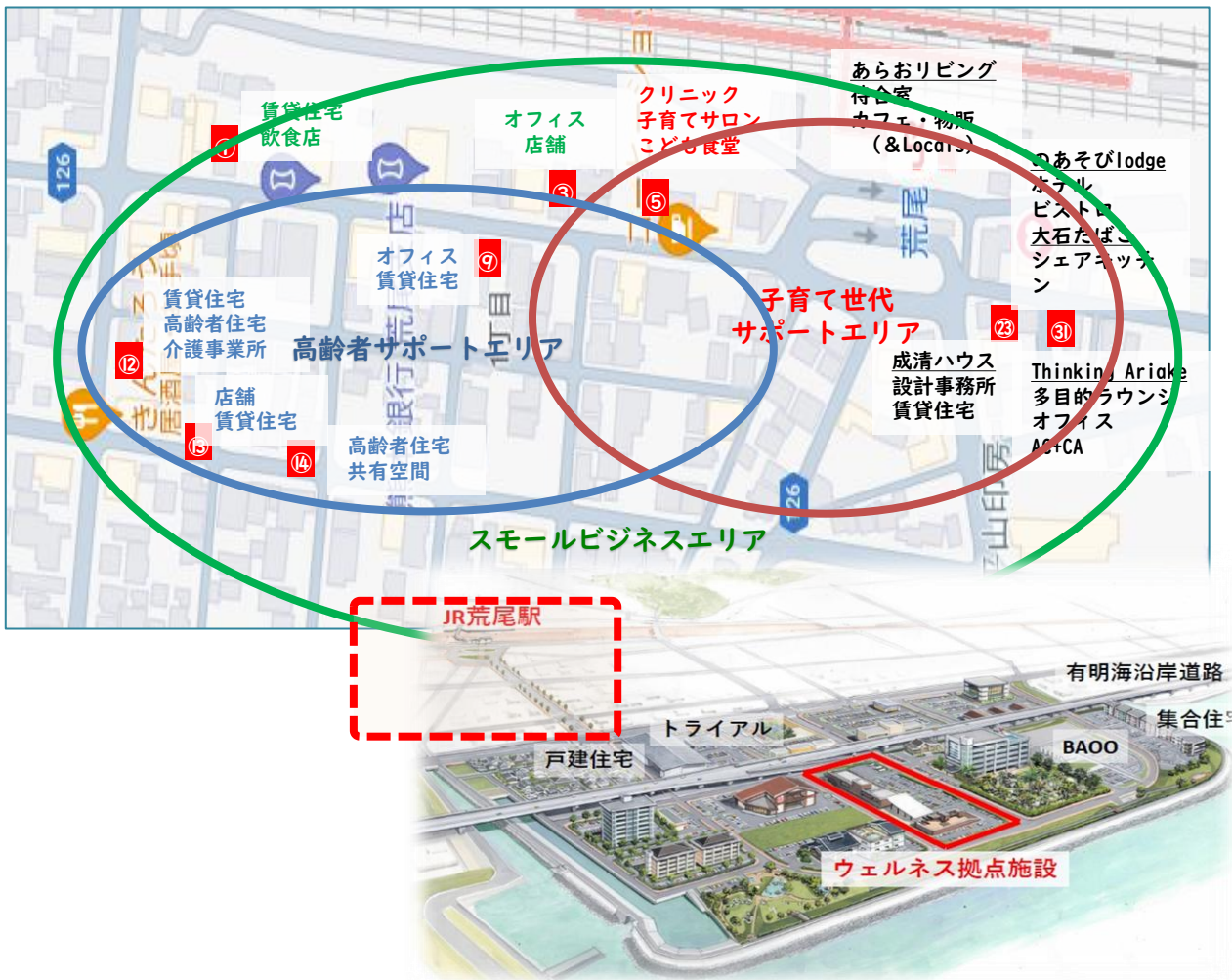
星田設計事務所

Thinking Ariake

旧熊本中央信用金庫



Wellness City Project



- a. エリア整備
リノベによる空家・空店舗の物件化
- b. 居住者・滞在者の増加
高齢者住宅の提供
医療介護福祉従事者（外国人就労者）
学生の居住促進
スモール・オフィスの誘致
- c. 生活環境整備
小店舗の開業支援
フリー（共用）スペースの設置
→高齢者・学童のサポート（共助）
- d. 健康・生活データの集積・解析
デジタル健康手帳（あらお健康手帳）